

子供の不安をやわらげるためにできること

様々な支援が必要な子供へ ①・・・

習志野市総合教育センター

学校再開後の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

学校再開から1か月、本格的な教育活動が始まっています。支援が必要な子供にとっても、例年の年とは異なるこの1か月が大変な日々だったと思います。

今回から4回にかけて子供たちが学校生活をする上での支援の紹介をしていきます。家庭での支援や学校に個別の支援をお願いする時のヒントにしてください。

★「話すことが苦手な子供」への支援のヒント

- ・話す内容のひな型(いつ、誰が、どこで等)を示して、話す前に文章化させる。
- ・話しやすい雰囲気づくりをして、話して伝えることが出来た経験を積み重ねさせる。
- ・視覚(写真・絵・文字)や選択肢で話す内容のイメージをつかみやすくさせる。



★「聞き取りが苦手な子供」への支援のヒント

- ・ゆっくり、はっきり、簡潔に等、聞き取りやすい伝え方に留意する。
- ・個別に要点を絞って指示をする。
- ・多人数が集まる場面では、あらかじめ呼びかけてから話を始めたり、全体に話した後、個別にもう一回話をしたりする等のお願いをする。
- ・実物、絵、写真や動作など視覚的な情報を併用して本人が強く印象を持てるようにする。

★「読むことが苦手な子供」への支援のヒント

- ・フラッシュカードで単語のまとまりを素早く読む練習をするなど、文字のまとまりを意識できるような練習をする。
- ・保護者が先に文を読み、後に続けて読ませたり、一緒に音読したりするなどして、読むことへの苦手意識の解消に努める。



・定規などで隠し、他の行に視線が移らないようにする。

★「読み取りが苦手な子供」への支援のヒント

- ・文を読む時、同時に内容に合った写真や絵を提示し「その言葉の意味するところ」をイメージしやすくする。
- ・文章のキーワードを線で囲んだり、マーカーで印をつけたりする。最初は保護者が一緒にやり、子供にチェックするキーワードのコツを伝えていく。

クラスでできる支援ヒント集～通常の学級での配慮ある指導を目指して～ 山形県教育庁義務教育課 より抜粋・要約

お子様の心の変化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。

総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)